1. クラウドコンピューティングとは？

インターネットを通じてITリソースとアプリケーションをオンデマンドで提供すること

（従量制料金）

2. クライアント - サーバー モデルとは？

**クライアント** : 人がコンピュータ サーバーにリクエストを送信するために相互作用するウェブ ブラウザまたはデスクトップ アプリケーション  
**サーバー** : 一種の仮想サーバーであるAmazon Elastic Compute Cloud(Amazon EC2)のようなサービス  
クライアントがサーバーに要請 ー> サーバーは要正当か検証 ー> 検証されたら応答を返還

3. クラウドコンピューティングのための配布モデル

1) クラウドベースの配布

● アプリケーションのすべての部分をクラウドで実行  
● 既存のアプリケーションをクラウドに移行

● クラウドで新しいアプリケーションを設計およびビルド

2) オンプレミス配布

● 仮想化およびリソース管理ツールを使用してリソースを配布  
● アプリケーション管理と仮想化技術を使用してリソースの活用度を高める  
● プライベートクラウド配布とも呼ばれる

3) ハイブリッド配布

● クラウドベースのリソースをオンプレミス インフラストラクチャに接続  
● クラウドベースのリソースをレガシーITアプリケーションと統合  
● 例えば、会社でオンプレミスにより適しており、クラウドに移行されていない複数のレガシーアプリケーションに配置データの処理や分析を自動化できるクラウドサービスを使用する場合、ハイブリッド配布を通じてレガシーアプリケーションをオンプレミスに保ちながらクラウドで実行されるデータや分析サービスの利点を活用することができる。

4. クラウドコンピューティングのメリット

1) 先行費用を可変費用に置き換える  
 ● リソースに対して事前に投資せず、使用するコンピューティング リソースに対してのみ費用を支払う  
  
2) データセンターの運営と維持管理に費用を投資する必要がない  
 ● データセンターでコンピューティングするには、インフラストラクチャとサーバー管理により多くのコストと時間を費やす必要がある場合が多いが、クラウドコンピューティングはこのような作業に気を使わず、アプリケーションと顧客により集中できる。

3) 容量推定不要  
 ● アプリケーションを展開する前に、必要なインフラストラクチャ容量を予測する必要はありません

4) 巨大な規模の経済で得られる利点  
 ● インフラストラクチャを所有する場合よりも可変コストが低くなる  
 ● クラウドで多くのお客様の使用量が累積するため、従量課金制による料金削減

5) スピードと敏捷性の向上  
● アプリケーションをより簡単に開発·配布可能  
  
6) 数分で全世界に配布

● 他の地域にいるお客様も遅延時間を最小限に抑えながらアプリケーションにアクセス可能